

## 学部長挨拶

田中 一

田中でございます。今度シンポジウム委員会の方々の努力によりまして、第2回社会と情報に関するシンポジウムを開催することができました。遠くからお忙しい中、おいでいただきました堂下さん、戸田さん、平野さんに心からお礼申し上げます。また大変多くの方々がご出席下さいまして誠に感謝にたえません。

このシンポジウムは昨年から始まりました。ご承知の通り社会情報学というものは、まだ学的体系を形成するまでには至っておりません。これは私が度々申し上げましたところですが、しかしながらそのような分野が形成される必然性は、私にとって明らかなように思われます。このような分野は、テーマをこれこれと限定することなく社会と情報に関する仕事を日ごろ広く深くしておられるアクティブな方々が、最も必要とお考えのところをお話いただき自由に討論する、そういうところから自然に形成されていくべきものでないかと考えております。

昨年もこのような趣旨で開いたわけですが、ご承知の通り大変ホットな議論が続きまして、私達としては大いに有意義であったと思っております。今年も、また、同じようなシンポジウムを開くことができました。昨年と同じように高い成果をあげることができるのではないかと期待しております。始めにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。